

わたしの 妊娠報告書

記載日 R2年 6月 4日

おめでた宣言日	R2年 5月
年齢 (38) 歳	平成 (25) 年 (11) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (9) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (?) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

「妊娠しやすい体づくり」を心掛けました。元々、平熱も低く、手足の冷えがひどかったため、体を温める食材を食べたり、冷めた飲み物は出来れば避けました。身体の冷えに対して(冬場)レッグウォーマーや腹巻きを使用するようになりました。嗜好品であるコーヒーの摂取量を減らしたり、ノンカフェインタイプの物にするなどしていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

タイミング法 → 人工授精 をくり返す中、1度も 陽性を見ることがなく、
心が折れそうになりました。体外受精へのステップアップは 仕事の調整も
難しくなると予測していたので、悩んでいましたが、主人が、治療に対し、とても
協力的だったので、ステップアップへの踏み切りことができました。

その他 (通院・治療費・家族など)

職場に 治療していることを話していなかったため、スケジュールに合わせて、
仕事の調整をするのに、苦労しましたが、土日祝と夜間の診療があった
ので、妊娠に至るまで 仕事と治療を両立することが出来ました。
遠方(車で1時間)からの通院が大変でしたが、仕事を続けられたので結果
良かったと思っています。

治療中の方へのアドバイス

時間が無いと焦りも出てくるので、
治療をすすめていく中、どうしても、治療のスケジュールが身になり、
治療中の生活へとなりがちですが、治療の合間に気分転換に
遠出してしたり、がんばり過ぎる時間を作るなど、自分の急な時間
を作ってリフレッシュをするのが良いと思います。
妊娠を望む 全2の方が、妊娠、出産されることを祈っています。
スタッフへのご意見など

先生をはじめ、看護師さん、培養士さん、受付の方へ感謝の気持ちで
一杯です。体調を崩して、体外受精のオリエンテーションを当日キャンセルした
際には、その後、体調を旨にして声掛けを下さったりと、とても御配慮
して頂きました。途中「治療をもう辞めようじゃないか?」と落ちたことも
ありましたが、頂戴まの御陰で、続けることが出来ました。ありがとうございます。